

2024年2月号

回覧

NO.190

由布高だより

大分県立由布高等学校発行

〒879-5413

由布市庄内町大龍 2674-1

TEL.097-582-0244

HPアドレス

<http://kou.oita-ed.jp/yufu/indexhtml>



由布高FB

令和5年度由布市連携型中高一貫教育 第2回推進委員会

令和5年度の第2回由布市連携型中高一貫教育推進委員会が2月20日(火)本校会議室にて開かれました。これは大分県教育委員会、由布市教育委員会が、由布高校の特徴である連携型中高一貫教育の現状と課題について共通認識をもって取り組むことを目的としています。今回は本年度の活動の総括となる会です。

県教育委員会高校教育課長や由布市教育委員会教育長、本校同窓会長、PTA役員、市内中学校の関係の方々が出席され、由布高校の今年度の状況や取り組みについて、由布市教育委員会・由布高校から報告がありました。

2年3組の観光コースの生徒は「グリーンツーリズム(民泊体験学習)」と「牛喰い絶叫大会ボランティア」、「フィールドワーク」について発表しました。生徒の感想「地域とかかわることで、将来は地域の皆さんと協力をしていきたい。そのためにも由布市の魅力を中心にもっと知っていきたい。」

2年1組の生徒は、魅力化事業(Taview)の活動を紹介しました。生徒の感想「クラスの仲間とのきずなが深まった。グループのみんなで意見を出し合うことでより良いものができた。また、進路についても深く考えることができ、今までは理系科目が苦手だったが、データを活用する活動を通して、将来の進路は文理融合型も考えるようになった。」

参加者の皆さんからは、「素晴らしい発表だった」などのありがたい感想をいただきました。その後、将来の連携型中高一貫の在り方について、出席者による様々な角度から意見交換が行われ、「今まで以上に由布高校の情報発信を強化していくためにはどうすれば良いのか」などの議論が交わされました。



能登半島地震の被災者支援のための募金活動

能登半島地震の被災者を支援するために「自分たちも何かできないか」と由布高校生徒会のメンバーを中心に募金活動を行いました。校内で在校生むけの募金を呼びかけるだけでなく、2月3日・17日には由布院駅前街頭募金も行いました。特に17日の活動では生徒会だけでなく野球部員も呼びかけに加わった結果、国内外の観光客の皆様から多額の募金をいただきました。総額は約23万円となり、日本赤十字社を通じて被災地に届くことになっています。ご協力ありがとうございました。



バドミントン部

2/12(月)豊後大野市で「再春館製薬所バドミントンチームによる講習会」が行われました。

再春館製薬所バドミントンチームには東京オリンピック日本代表の山口茜さん等世界で活躍する選手がたくさんいます。今回は、2023年日本A代表の郡司莉子選手、2012年ロンドンオリンピック銀メダリストの垣岩令佳さん(マネージャー)等10名の方から指導を受けました。本校主将の松山和輝(庄内中出身)さんは、郡司莉子選手とシングルスのエキジビションマッチを行いました。(写真右下)

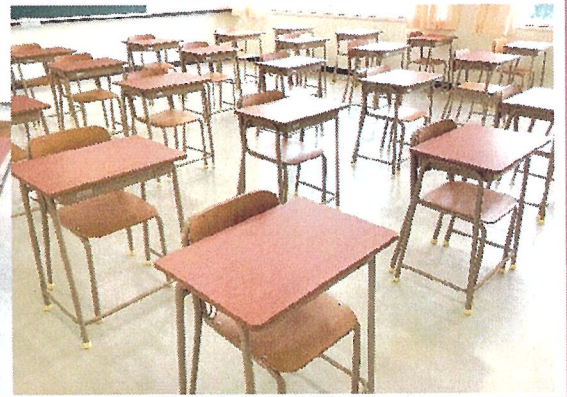
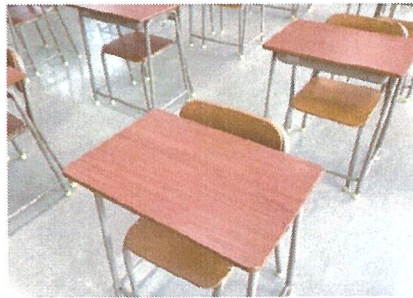
垣岩令佳さん

生徒コメント(松山和輝 2-3 庄内中出身)
学んだことは、どんな球を打ちたいかを常にイメージして練習をすることの大切さです。前は、入ればどんな球でもいいと思っていたので、これを聞いた時には確かに大切だと思いました。試合では、最初は緊張で楽しめなかったけど、ラリーを続けていくうちに緊張がとけていって、楽しくなりました。たくさんアドバイスをもらったので改善していきたいです。



新しい机・椅子が搬入されました!

2月1日(木)、FTA基金を活用させていただき、本校に真新しい机・椅子が搬入されました。これは経年劣化等で傷ついたり痛んだりしたものの交換用です。大事に使ってほしいです。



同窓会入会式(3年生)

2月29日(木)卒業式を前に同窓会会長・同窓会副会長をお招きし、3年生の同窓会入会式が本校体育館にて行われました。同窓会長の挨拶では、「入会を歓迎します。卒業後も高校で学んだことをいかして頑張ってもらいたい。また、今後の高校に対しても同窓会として応援していく」とのお言葉をいただきました。クラス幹事の紹介のあと新入会員代表宣誓が行われ、代表生徒から力強い宣誓のことがありました。卒業後も、同窓会の一員として絆を大切に頑張ってもらいたいと思います。

